

# 夢をかたちに…!!

発行人  
星野みつひろ後援会  
〒354-0021  
富士見市大字鶴馬2612-7  
TEL/ 049-254-6332  
FAX/ 049-252-4651  
www.hoshino-corp.com/3hiro/  
e-mail : 3hiro@hoshino-corp.com

平成22年2月3日 No.16

mitsuhiro hoshino supporters news letter

## 決算議会について！

3月の予算議会も重要な場であることに変わりありませんが、9月の決算議会は将来の予算につながる重要な議論が行われています。

毎年の9月定例議会では前年度の一般会計をはじめとする決算の認定審査を行います。本会議の総括質疑に始まり、決算特別委員会が設置され、平成20年度の一般会計、特別会計、事業会計の順で審査を行います。昨年は私が特別委員長を務め、他8名の委員で3日間16時間13分の審査時間を費やし、質疑を展開致しました。予算策定作業が始まる前に過年度決算の審査を行い、認定・不認定について議会の判断を示すこととなります。そして、決算審査の過程に

おいて出された様々な意見や考えが、次年度の予算に如何に反映されるかが課題となります。

また、私は議会で審査をより充実したものとするため、行政が実施する事務事業に対して、実績評価を行う必要があると主張してきました。事務事業評価を行うことで、一般会計などの事務事業レベルで審査が行いやすく、決算審査がより充実したものになると考えるからです。是非、来年9月の決算議会にもご注目ください。



議場にて



## 平成21年・9月定例議会報告

### ●●● 議会トピックス① ●●●

9月定例会は9月1日に開かれ、一般会計、特別会計、企業会計などの決算認定審査及び大型補正予算第5号の審議を中心に行われました。

○平成21年度富士見市一般会計補正予算(第5号)について

\*補正財源は経済対策による地域活性化・経済危機対策臨時交付金などによる約4億8,100万円の増額補正です。主な内容は市内小中学校等に対し、ICT教育環境の向上を図るための教員用コンピュータの整備、校内LANシステム整備を行う補正予算です。教員用PC 466台及び周辺機器の整備に7,610万円。校内LANシステム、体育館トイレなどの整備に1億2,369万円。一方で、地方交付税額の決定で当初見込みより1億7,500万円減額補正されました。国の方針に従って、思い切った補正予算となりました。

※注1 情報・通信に係る技術一般の総称  
 ※注2 同じ建物内など、限定された領域内に設置された通信ネットワーク設備

○平成20年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について  
 一般会計の収入済額は271億9,679万円で、支出

済額は260億4,343万円、審査の中で指摘した主な事項は、不用額が12億6,028万円と多く、予算執行率が88%と低いこと。前年に比べ不用額が5億8千万増で、執行率も73%落ちていきます。まず、予算編成時の積算、査定甘さを指摘しました。しかし、予算執行時に職員の努力により、適切に予算縮減を図った事項もありました。今後は枠配分による予算編成にも限界があり、予算インセンティブ制度などの新たな取り組みの導入を提案します。予算執行過程での経費の削減等に対して、インセンティブ(報奨)として予算配分を上乗せするものです。職員意識の変革のためにも必要なものです。

## 平成21年・12月定例議会報告

### ●●● 議会トピックス② ●●●

12月定例会は11月27日に招集、12月14日までの18日間で行われました。主な内容は一般会計補正予算、給与に関する条例等の改正などの議案について審議致しました。

○富士見市一般会計補正予算(第6号、第7号、第8号)について

\*補正予算第6号の感染症等予防対策事業2,731万円は新型インフルエンザワクチン接種が11月から開始されることに伴い、助成を

行うための補正です。さらに、補正予算第7号では、1,578万円を予算化。1歳から小学校6年生までの新型インフルエンザワクチンを接種した場合の実費負担軽減のため、助成金1回1,000円、接種回数2回の補正です。  
 \*補正予算第8号では防災対策事業として3,903万円。全国瞬時警報システムの導入の予算と、これに合わせて老朽化した防災行政無線の整備や改修工事を行うものです。

○富士見市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について

\*人事院勧告に伴い、一般職の職員の給料、期末勤勉手当。市長、副市長市議会議員の報酬と期末手当を減額する条例改正です。特別職報酬審議会が開かれ、減額改定の答申が出されました。これによって今年度は、職員及び特別職で7,231万円、議会は344万円減額となります。

給与改定による次年度以降の財政効果見込み

	①改定前年給与	②改定後年間給与	比較① - ②
一般職	42億5,600万円	41億5,500万円	1億0,100万円
特別職及び議会	5,300万円	5,160万円	140万円
合計	43億900万円	42億660万円	1億240万円

※条例の改正により次年度以降、約1億240万円の削減が見込めます。

## これからの富士見市を語る 8

昨年8月末に実施された総選挙の結果、政権交代がなされました。新しい政権下で、世の中はどのように変わっていくのでしょうか。単に“（小泉）構造改革前”に戻るだけなのか、それとも、歴史に残るような創造的で新しい政策が実施されるのか。国民全員が大いに注目しています。

そして、富士見市も、政権交代でどのような影響を受けるのでしょうか。まだ詳しいことはわかりませんが、与党の「マニフェスト」によれば、地方政策については「中央集権から、地域主権へ」「地方でできることは地方に移譲」「『ひもつき補助金』は廃止し、地方の自主財源に転換」とあります。わかりやすく言えば、富士見市に「権限」と「おカネ」が渡される、ということなのです。

このことは、決して手放して喜べることではありません。今までは中央の言うことに従っていけばよかつたものが、これからは、それぞれの自治体が責任を持っておこなわなければならない、ということでもあります。つまり、自治体には、「渡さ



他県からの視察に対し一店逸品の報告を行う（商工会にて）

れた権限とおカネ」を使いこなすだけの能力を持つことが必要とされてくるのです。その能力が有るか、無いかで、地方の“優劣”がはっきりしてくるかもしれません。

このように考えてくると、わたしたち市民も、富士見市の行政を他人事のように考えていてはいけな、ということがわかります。そのためには、まずはじめに、「自分たちで出来ることは自分たちでやる」といった意識改革が必要です。

みつひろこ

## 苦言・甘言

川くげん・かんげん

人間は、なかなか素直になれないものです。いろいろな関係やしがらみがあり、本当は心で思っている事と違う行動、発言をしてしまう事が多くあります、特に今の時代はそうですね。

また、この閉塞感のある中で、「俺が」、「俺が」と自己主張してゆかないと自分自身が埋もれてしまいそうになります、全ての物事がスピードを増して進んでいる様に感じます。その中で、人間は一人で全てを背負っていくことは出来ません、又、一人でやるうと思うと大変つらいです。ですから、「俺が」の「が」では無く、是非とも素直な心と感謝の気持ちを忘れないでいけば、必ず回りの方々から応援が有りそして、助けが有るはずなのです。

今、現代に必要な言葉は「はい」、「おかげさま」、「有り難う」だと思います。

光弘議員も「おかげ」の「げ」を忘れないで行きましょう。応援しています。

西みずほ台 M

新型インフルエンザ感染症の猛威は10月から12月にかけて若年層（20歳以下）特に学校などで集団発生をきたしました。この地域においても学校閉鎖に追い込まれたところもありました。1/22現在 二市一町（富士見市、ふじみ野市、三芳町）の小中学校における新型インフルエンザ患者数は累計6378人となり、児童数約21000人からすると隠れ患者なども含めると約半数の児童が新型インフルエンザにかかったこととなります。現時点では（1/29）1月に入り新型インフルエンザ患者は少なくなってきました。

これまでわかってきた新型インフルエンザの臨床像は

- 1) 伝播力は高く、特に学校などでは爆発的な集団発生をきたした。
- 2) 60歳以上の方には罹りにくい。
- 3) 大多数の患者さんはインフルエンザ様疾患のみで合併症もなく治癒している。肺炎やインフルエンザ脳症を併発して重症化する場合がある。特に肺炎は急速に進行するウイルス性肺炎を起こす場合が多い（喘息や慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器疾患）
- 4) 重症化のリスクを有するグループとして、喘息、肥満、妊娠中の女性、慢性心・肺疾患、悪性腫瘍、免疫不全などの基礎疾患を有する方。
- 5) 重症化の兆候として咳の悪化・呼吸困難や息

切れ、持続性の嘔吐、顔面蒼白、水分摂取不良、意識あるいは意思疎通不良、痙攣、（小児の場合）機嫌が悪くだっこされることを嫌がる、等です

6) 12/29までの死亡例145名（うち基礎疾患を有するものは106名）と全体での致死率は高くない（スペイン風邪2-3% アジア風邪、香港風邪0.2%以下）

7) タミフル、リレンザなどのノイラミダーゼ阻害薬が有効である（一部耐性菌の報告がある）

8) インフルエンザ感染症のうちほとんどが新型インフルエンザウイルスで占める

9) 例年はやる季節性インフルエンザの流行は現時点（1/29）では認められてない。

これからの対策としては、若年層でまだインフルエンザにかかってない人は新型インフルエンザのワクチンをしておいたほうがよいでしょう（高齢者ではどうも免疫があると考えられ、季節性インフルエンザについて今年にはやらないとおもわれます）

現時点ではたぶん輸入ワクチンは使用されることはないと予想され、新型インフルエンザワクチンの安全性に関しては、基礎疾患のある高齢者以外については季節性のインフルエンザワクチンとほぼ同等と考えられます。

生来健康で、発症しても比較的元気な方については、自宅で療養が可能ですが、重症化の兆候が認められた場合には、速やかに対応しましょう。

感染性胃腸炎、感冒などどうしても冬時期にはやる病気もあり、くれぐれも日ごろの体調管理に気をつけて、この冬をのりきってください。



## 編集者のつぶやき★

“ガンダムってスゲー”お台場の実物大ガンダム来場者数は、予想の3倍近い415万2000人が訪れたらしい。某テレビ局の夏のイベントより混んでいたかも。実物大のガンダムを観た時のワクワクしたのは自分だけ？密かにガンダムバーが神戸市で盛り上がってるらしい。ガンダムの経済効果はすごい！神戸には実物大鉄人28号、牛久には大仏、そこで、ららぽーと跡地にシャア専用ザクなんてどうでしょう？やっぱダメかな・・・

民主党政権となって早5ヵ月。八ツ場ダムの問題、CO<sub>2</sub>マイナス25%と高速道路無料化の問題。連立は必要だったのか？皆さんはどうおもいますか？前進塾では、様々な角度から見た意見が飛び交っていました。

星野みつひろ  
公式ホームページ  
[www.hoshino-corp.com/3hiro](http://www.hoshino-corp.com/3hiro)